

平成28年度からの福岡教育大学大学院教育学研究科（教職実践専攻，教育科学専攻）の改革について

福岡教育大学

《福岡教育大学大学院での学びについて》

これからの教員は，社会の急速な進展や変化の中で必要な知識・技能を絶え間なく刷新し，教職生活全体を通じて学び続けることが求められています。

こうした「学び続ける教員」を支援するため，本学大学院では，平成28年度から下記のとおり教育課程，指導体制等を改革し，さらに，教育委員会・学校との連携・協働を強化します。それにより，①教職実践専攻（教職大学院）では，学校課題に即した学校マネジメント，教科指導，生徒指導，教育相談（特別支援教育含む。），学級経営等について，専門的知見に基づく高度の「実践的指導力」を，②教育科学専攻では，教育行政や学校現場等で発揮できる「研究力」を確実に育てていきます。

教職を目指してさらに実践的な力を身に付けたい者，これまでの教職生活を見つめ直し新たな力を身に付けたい者など，様々な者が本学大学院で学ばれ，修了後に学校現場等で新人教員又は中核的な教員のリーダーとして活躍することを期待しています。

（本資料に記載する各専攻の入学定員は国の予算編成に係る事項であるため，現時点）
（では本学が予定するものであり，今後，変更することがあります。）

1. 平成28年度からの入学定員の変更（予定）

①教職実践専攻（教職大学院）

現在の20名から40名とします。

（ ・教育実践力開発コース 25名
・生徒指導・教育相談リーダーコース及び学校運営リーダーコース 15名 ）

②教育科学専攻

現在の80名から60名とします。（コース名，各入学定員はP. 3に掲載。）

2. 平成28年度からの教育内容等の改革

1. 教職実践専攻（教職大学院）

○ 専門職学位課程として修了後は教職修士（専門職）の学位を授与します。また，小学校・中学校・高等学校教諭一種免許状を有している者は，各専修免許状を取得することができます

○ 本学教職大学院では，これまでの修了者が100%教員として採用されています。また，教育実践力開発コースの修了予定者は，福岡県，福岡市，北九州市等の教育委員会から教員採用選考試験の一部を免除（筆記試験）されるとともに，福岡県及び福岡市の場合は，試験合格者は教員採用を1年間延長することができるため，大学院1年生から採用試験の受験が可能です。

現職教員対象の2つのリーダーコースの修了者は，いずれも勤務校での中核的なリーダーとして専門的力量を発揮した後，多くの者が教頭，指導主事，主幹教諭，指導教諭，特別支援教育コーディネーター等として活躍しています。このように教職大学院での学びの成果が教育委員会や学校関係者から高い評価を得ています。

○ さらに教育内容，指導体制等の改革を図り，九州・沖縄地域をはじめとした全国の先導的・中核的な教職大学院として，修了者が各地域で活躍できるようにします。

(1) 教職大学院で育成する資質・能力

学校教育の実践的な課題に取り組む上で発揮できる効果的で多様な指導法等の理解と実践する力、卓越したリーダーシップ、豊かな人間性を習得できるようにします。

①教育実践力開発コース（学部卒業者及び社会人対象）

現職教員としてのスタート段階で身に付けることが望まれる知識・技能の多くを習得し、教育状況を俯瞰する広い専門的視野、確かな学校教育活動の即戦力となる実践的指導力、授業力、学級経営力、人間関係形成能力等を育成します。

②生徒指導・教育相談リーダーコース（現職教員対象）

学校現場で中核となって学校適応の推進を担当する際に望まれる知識・技能の多くを取得し、校内での生徒指導、教育相談、特別支援教育、キャリア教育、学校体制づくりの取組を包括的にリードし、学校内外の教育・福祉関係者等及び関係機関をコーディネートして、個々の児童生徒の成長発達を促し、問題行動の予防と全校の教育機能向上をリードする力を育成します。

③学校運営リーダーコース（現職教員対象）

教頭、主幹教諭、指導教諭等として身に付けることが望まれる知識・技能の多くを習得し、学校が直面する諸課題の多面的な分析と解決に向けた校内研究の推進、教育課程の開発、学校マネジメント、学校・地域連携の領域について、リーダーとして専門的力量を発揮し、学校全体の教育実践や指導の改善をリードする力を育成します。

(2) 教育課程の改革

教育委員会や学校関係者との意見交換を通して、教育現場により密着したカリキュラム編成等を行うとともに、各自が高めたい力量の形成により多くの時間を費やせるよう、現行の修了要件の54単位を48単位に縮減します。

生徒指導・教育相談リーダーコース及び学校運営リーダーコースでは、小学校・中学校教員に加えて、高等学校教員も積極的に受け入れます。また、教育委員会の意向を踏まえ、いじめ不登校等への対応や特別支援教育、キャリア教育の促進のため、生徒指導に関する専門的力量を有する指導者を養成します。

教育実践力開発コースでは、各教科に応じた指導力を高めるための科目の充実等を行います。なお、他校種の免許状を有し、新たに小学校教諭専修免許状の取得を希望する者は、3年間をかけて履修することを可能とします。

2. 教育科学専攻

- 修士課程として修了後は修士の学位を授与します。また、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭一種免許状、養護教諭一種免許状を有している者は、必要な科目を履修することによって各専修免許状を取得することができます
- 教育行政や学校現場で発揮・活用できる「研究力」の育成を目指して下記の改革を行います。

(1) 修士課程で育成する資質・能力

小・中学校、特別支援学校等の教員や大学教員を志望する者、研究開発学校、研究指定校等の関係教員、高校での「課題研究」やSSHの担当教員、教育行政の研究担当主事等に、学校教育活動の充実に資する教育課程、授業、学級経営等の改善にかかる研究力、指導力の基礎となる知識・技能をパッケージ的に習得させます。

研究活動では、教育課題について、教職に関する理論的な命題を実践場面で応用し、解決を図るとの演繹的な研究を主に進め、研究成果は修士論文としてとりまとめます。

これらにより下記のような力を育成します。

- 論理的な思考方法
- 教員としての業務、学校教育活動にかかるより深い理解
- 積極的に学校運営、各指導計画、教材、教具、授業の進め方や生徒指導の改善に向けた研究に取り組む意識
- 適切な理論と手法により、学校、児童生徒の現状を的確に把握、分析する力その他の学校教育活動にかかる研究に必要な基礎的な視点や手法
- 当該教科等の関連学問領域での多様な理論、原理等の理解と応用
- 課題解決に向けての必要事項を提示、検証できる力

[身に付けた資質・能力の学校現場での具体的な発揮例]

- 学力等の調査結果を踏まえた当該学校での児童生徒の課題の背景，つまずきの生じている段階の的確な把握とそれに応じた教育課程編成，各指導のあり方や課題解決方策の研究，学校全体での学年を超えた指導の在り方の見直しの提案
- 生徒の学習や学校活動の意欲喚起のための教科指導，学級経営場面での「言葉かけ」の内容，タイミングの研究と提案
- 子供の体力低下の背景，要因の探究，子供の心理，行動に関する理論等からの運動促進方策の研究と提案
- 部活動での指導における科学的な理論と根拠に基づいた練習方法の導入，生徒の自主的な練習意欲・態度の向上につながる集団づくり

(2) コース再編，教育課程の改革

- 専攻内のコースを再編し，現行14コースを2コースとします。
各コースで，各自の研究テーマに即して必要な複数の教員による指導を行い，修士論文の作成は，今日的な教育課題の解決に資する研究テーマ，内容となるよう指導していきます。教科横断的な研究も行い易くなります。(例：特別支援教育と音楽教育又は数学教育との組み合わせ，技術教育と家政教育や社会科教育との組み合わせによるESDの推進等)

(現状)			(改革後)	
コース名	入学定員		コース名	入学定員
教育活動創造	5	→	学校教育創造コース	10
学校心理	3		本コース内で，学校教育学，教育心理学，特別支援教育の領域を選択。	
教育臨床心理学	6		各領域3名程度募集。	
特別支援教育	6		-----	
国語教育	6		教科教育創造コース	50
社会科教育	6		本コース内で，国語教育，社会科教育，数学教育，理科教育，音楽教育，美術教育，保健体育，技術教育，家政教育，英語教育の領域を選択。	
数学教育	7		各領域5名程度募集。	
理科教育	7			
音楽教育	7			
美術教育	7			
保健体育	5			
技術教育	5			
家政教育	5			
英語教育	5			
	80			60

- 教育課程では，「学校現場をフィールドとする活動」を取り入れ，実際の授業やその他の教育活動を直接に観察し，また，実際に指導したりする経験をさせて，そこから教育課程，授業等の組み立て方を省察したり，説明したり，論述したりする科目を設けるなど，教育課程の科目，内容，単位数を変更します。

【改革後のカリキュラムの全体構成（教科教育創造コースの場合）】

□学校教育に関する科目 … 6 単位

共通科目（現代の教育課題を踏まえて教育実践の基盤として必要な教職理論を身に付ける）、専門科目（現代の教育課題に応える教育実践を構想展開するための知識技能及び指導法等を身に付けるとともに実践的・理論的な研究力を身に付ける）により構成。

□教科等に関する科目 … 16 単位

教科内容科目（教科等の専門的知識技能を身に付けるとともに実践的・理論的な研究力を高める）、教科教育科目（教科等の指導法に関する理論的・専門的知識を身に付けるとともに、実践的・理論的な研究力を高める）より構成し、各教科等の基になる親学問や関連分野の理解を深めるだけでなく、教員としてそれらを活かしてどのように効果的な指導につなげていくか、子供に実生活等とのつながりを理解させるかまでも含めて指導できる力を身につけさせる。また、子供の育成すべき資質・能力を踏まえて教科等でどのように指導を行っていくかの理解を深めさせる。

□教科領域等の実地研究に関する科目 … 4 単位

「学校現場をフィールドとする活動」をとり入れ、実際の授業やその他の教育活動を直接に観察し、また、実際に指導したりする経験をさせて、そこから教育課程、授業等の組み立て方を省察したり、説明したり、論述したりする研究力を育成する。

□自由選択 … 2 単位

各専門領域等の授業科目から選択する。

□課題研究 … 2 単位

学生の教育研究課題を考慮して開設し、修士論文に発展させる。

3. 平成28年度入学者選抜方法

- 入学者選抜は、教職に対する意欲・適性及び専門的能力等をみる試験を実施します。
なお、各専攻の入学者選抜方法は、平成28年度大学院（教育科学専攻，教職実践専攻（教職大学院））学生募集要項（平成27年6月公表予定）で詳細に公表する予定です。

《本件問い合わせ先》

福岡教育大学入試課

電話 : 0940-35-1235

Fax : 0940-34-1313

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1